



5月12日 JTSU-E 大地申第6号

2022年3月ダイヤ改正で生じた日光線及び宇都宮線(小山～黒磯)の輸送品質低下の改善を求める緊急申し入れ交渉開催！【その6】

1. 日光線及び宇都宮線（小山～黒磯）の通勤通学時間帯の混雑に対して認識を示すこと。
2. 混雑緩和に向けた輸送対策を早急を実施すること。
3. 輸送対策を実施するまでに以下の対策を行うこと。
 - ・朝夕通勤時間帯の列車については車掌を乗務させること。
 - ・鹿沼駅及び鶴田駅等のホームに通勤対策社員を配置すること。

組合

◆ ダイヤ改正してから1ヶ月半経っているが、どこに電車が停車するか、把握していないお客さまが多い。駅で案内放送をしていくべきではないか。

◆ 傷害触車事故防止の観点でいくと、16時42分発671Mの反対側のホームに16時37分発の逗子行が止まっているが、遅延時にホーム上の混雑を考えると、触車防止の観点からも危ないと感じる。

17時13分発の673Mに関して言えば、調査を行った日は17時01分頃に9番線側を貨物列車が高速で通過していった。黄色い線のギリギリまでお客さまが並ばれている状況であり、危険性を認識して駅社員の配置やホームの放送、乗車位置の目標の変更など早急に議論をし、改善するべきだ。

◆ 日光線826Mで宇都宮運輸区の社員が乗車しているのは一日だけなのか。

会社

■ 団体交渉の場で、こういう話があったというのは、営業含め社内で共有する。

■ ダイヤ改正後は、運転士位置に指導担当が乗っていた。4月8日以降、毎日宇都宮運輸区の管理者が乗っている。今日も乗っていた。現場管理者が状況確認で乗っている。

1項～3項 確認事項

- お客さまのご利用状況を鑑みて総合的に考えた結果、今回のダイヤになった。
- 日光線に限らず、人口減少で鉄道利用が全線で減っている。
- 日光線と言えば4月の混雑は一過性である。
- 臨時列車が検討できるとしたら、日光線の日中時間帯のみ。朝の時間帯は不可能。
- 理由は車両運用の問題である。

組合の主張！

- 4月の日光線の混雑は毎年発生しているが、今回ダイヤ改正で看過できないところまで混雑が発生している。7時台の増発、または、新年度開始からゴールデンウィークまでの期間限定して増発を求める！
- 増発が不可能ならば、3両編成を増結し6両編成とし、期間限定でも行うこと！